



おぐに議会だより

第39号

令和2年8月10日

- 令和2年 第2回臨時会
- 令和2年 第2回定例会
- 町政を問う(一般質問)

町民の皆さまへ

令和2年7月豪雨災害は小国町全域に甚大な被害をもたらしました。被災されたすべての住民の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

議員一同、迅速な災害復旧へ向け国や県へ支援を要請すると共に、町の各機関と連携を取り、住民の皆さまが一日も早く元の生活に戻れるよう取り組んでまいります。

小国町議会

令和2年第2回臨時会 令和2年5月8日

5月8日（金）、今年2回目の臨時会を開き、専決処分事項の承認及び条例・補正予算を審議した。

【専決処分の承認】

- 承認第1号 小国町税条例等の一部を改正する条例（令和2年3月31日専決）
…地方税法等の一部を改正する法律公布により、個人町民税の扶養親族等申告書、固定資産税の納税義務者・現所有者の申告、たばこ税の課税免除などの改正
- 承認第2号 小国町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
（令和2年3月31日専決）
…地方税法施行令の一部を改正する政令公布により、課税限度額及び軽減判定所得の引上げ
- 承認第3号 一般会計補正予算（第1号）（令和2年5月1日専決）
…特別定額給付金費 7億189万円を追加し、58億9,689万円に

【条 例】

- 議案第31号 小国町長の給与の特例に関する条例
…令和2年6月1日から11月30日まで町長の給料月額を、町長等の給与及び旅費に関する条例に規定する額から、その額に100分の50を乗じて得た額を減じた額とする
- 議案第32号 小国町つながる未来基金条例
…大規模災害時の復旧事業及び感染症等の予防又は復興対策事業に要する経費に充てる基金を設置
- 議案第33号 小国町税条例の一部を改正する条例
…新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例・寄付金税額控除の特例など
- 議案第34号 小国町国民健康保険条例の一部を改正する条例
…被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合あるいは感染が疑われた場合に、その療養のため労務に服することができなかった期間について、傷病手当金を支給する

【予 算】

- 議案第35号 一般会計補正予算（第2号）…3,775万円を追加し、59億3,464万円に
…子育て世帯臨時特別給付金、休業支援給付金、家賃支援給付金、事業継続支援給付金、商工活性化事業補助金、小国ドーム高圧ケーブル取替工事
- 議案第36号 国民健康保険特別会計補正予算…71万円を追加し、10億8,427万円に
…傷病手当金

新型コロナウイルス対策にかかる提案等を町長へ提出

新型コロナウイルス対策について、町は4月6日に対策本部を設置しました。議会ではその直後より議会・町長執行部との意見交換会（最終ページ詳報）や議員間での情報・意見交換会等を実施しました。これらをふまえて、令和2年5月19日（火）に議会として提案をまとめた「新型コロナウイルス対策にかかる提案等」を松崎俊一議長名で渡邊誠次町長へ提出しました。

※提案等の代表的なものとして

プレミアム商品券の発行、観光関係提案、国民健康保険税減免、各店舗に対する定期的調査と支援、町分の各種経済対策給付金の給付要件の変更や拡充、各種申請（国・県・町）の窓口支援や委託費用等助成また、提出日以降においても提案・要望等が生じた場合は随時、町執行部へ伝えています。

令和2年第2回定例会 令和2年6月15日～6月17日

第2回定例会が6月15日から3日間開催され、新型コロナウイルス対応のための補正予算などについて審議した。

【専決処分の承認】

○承認第4号 専決処分事項の承認（一般会計補正予算 第3号）

・・・8,944万円追加し60億2,408万円に

・・・新型コロナウイルス対策事業7,218万円（18歳未満の子ども一人に1万円の給付金、プレミアム付き飲食券発行費用、観光CM製作費用、小中学生のタブレット端末購入費用など）

【 条 例 】

○議案第37号 小国町税条例の一部を改正する条例

・・・地方税法改正に伴う条例改正。町民税の非課税措置、所得控除の寡婦控除に未婚のひとり親を追加するなどの措置

○議案第38号 小国町介護保険条例の一部を改正する条例

・・・消費税10%増税が完全施行される事に伴う、低所得者などの保険料軽減

年間保険料 第1段階 3万600円→2万4,480円

第2段階 5万1,000円→4万800円

第3段階 5万9,160円→5万7,120円

○議案第39号 小国町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

・・・給与所得のある被保険者が新型コロナウイルスに感染した場合、あるいは感染が疑われた場合に、その療養のために労務に服す事が出来なかった期間について、傷病手当を支給するための手続きを定める

○議案第40号 小国町営住宅条例の一部を改正する条例

・・・町営住宅10カ所の名称と所在地を条例に規定

○議案第41号 小国町営単独住宅条例の一部を改正する条例

・・・町営単独住宅（西帯田住宅）の名称と所在地を条例に規定

○議案第42号 小国町道路占有料徴収条例の一部を改正する条例

・・・町道敷地で太陽光発電、風力発電を行う場合の敷地使用料を設定。年間1平方メートル当たり1,100円

【 予 算 】

○議案第43号 一般会計補正予算 第4号 ・・・7,895万円追加し61億304万円に

・・・町道新設改良工事（鍋ヶ滝線、下滴水線）実施設計委託料4,200万円▼道路改良工事（万城寺線、対岸線、下滴水線）工事費2,100万円▼町営住宅浄化槽改修工事550万円など

【人 事】

○同意第1号～8号 農業委員の任命

…任期満了による農業委員の改選
(敬称略)

飯沼 由彦(宮原) 認定農業者
昭和43年5月28日生まれ
(52歳)
宮原農事振興会推薦
水稻、アスパラ



穴井 千年(西里) 認定農業者
昭和28年12月26日生まれ
(66歳)
肉牛繁殖、水稻



穴井 英雄(北里)
昭和32年10月11日生まれ
(62歳)
水稻、ハウレンソウ、
ミニパプリカ



石松 雄平(黒淵) 認定農業者
昭和30年9月25日生まれ
(64歳)
大字黒淵協議会推薦
水稻、ハウレンソウ



梅木 美代(黒淵)
昭和27年2月26日生まれ
(68歳)
大字黒淵協議会推薦
中立委員(非農家)



松岡 克明(上田) 認定農業者
昭和27年10月31日生まれ
(67歳)
大字上田協議会推薦
水稻



宮崎 博美(下城) 認定農業者
昭和24年2月10日生まれ
(71歳)
ハウレンソウ、水稻



佐藤 仲子(西里) 認定農業者
昭和33年6月18日生まれ
(61歳)
大字西里協議会推薦
ダイコン



【専決処分の報告】

○報告第1号 専決処分の報告(公共工事請負契約金額の変更)

…柏田団地 外壁・屋根改修工事 受注者:橋本建設(小国町宮原)

1億890万円→1億1,067万円

(理由) 設計時の調査を1階部分のみしか行わずに概算で見積もりを行っていたが、2階部分以上の調査も実際に行ったところ予想を上回る工事費となった。

【予算の繰越】

○報告第2号 令和元年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

…8事業(3億1,408万円)について、令和元年度予算から令和2年度に繰り越す事が報告された。事業ごとの繰越額は次の通り。(千円以下は四捨五入)

▼地籍調査事業6,800万円▼観光施設整備事業300万円▼町道維持事業5,491万円
▼道路改良事業1億4,840万円▼小学校情報通信ネットワーク環境整備事業1,470万円
▼中学校情報通信ネットワーク環境整備事業900万円▼特別支援教育環境整備事業
180万円▼災害復旧事業1,427万円

採決結果一覽表

(事件名欄の名称は一部短縮して記載しているものがあります)

	議案番号	事件名	採決結果	時松昭弘	江藤理一郎	穴見まち子	久野達也	児玉智博	大塚英博	西田直美	松本明雄	熊谷博行
(5月8日) 第2回臨時会	承認第1号	専決第1号 小国町税条例等の一部改正	承認	全員賛成								
	承認第2号	専決第2号 小国町国民健康保険税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	承認第3号	専決第3号 令和2年度小国町一般会計補正予算(第1号)	承認	全員賛成								
	議案第31号	小国町長の給与の特例に関する条例	可決									
	議案第32号	小国町つながる未来基金条例	可決									
	議案第33号	小国町税条例の一部改正	可決									
	議案第34号	小国町国民健康保険条例の一部改正	可決									
	議案第35号	令和2年度一般会計補正予算(第2号)	可決									
	議案第36号	令和2年度小国町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決									
(6月15日) 6月定例会 17日	承認第4号	専決第4号 令和2年度小国町一般会計補正予算(第3号)	承認	全員賛成								
	議案第37号	小国町税条例等の一部改正	可決	全員賛成								
	議案第38号	小国町介護保険条例の一部改正	可決									
	議案第39号	小国町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可決									
	議案第40号	小国町営住宅条例の一部改正	可決									
	議案第41号	小国町営単独住宅条例の一部改正	可決									
	議案第42号	小国町道路占用料徴収条例の一部改正	可決									
	議案第43号	令和2年度一般会計補正予算(第4号)	可決	全員賛成								
		同意第1号 ～同意第8号	小国町農業委員会の委員(8名)の任命	同意	全員賛成又は賛成多数							

町政を問う【一般質問】

圃新型コロンナで町民所得や農業・営業収益の減少は計り知れない。国の一次・二次補正と別に町として財源をどう考えるか。

【町長】町単独での支援は非常に厳しい。まずは感染拡大防止に努めたい。単年度ではない振興策を練っていく。

問 今年度予算で執行できないものがある。減額補正をするのか。

【総務課長】現在500万円、最高1500万円執行中止に出来る金額かと考える。

圓執行できない予算は補正し、町独自の支援策を考えることが必要ではないか。

【町長】優先順位をつけ、支援や給付は国や県の協力を得、町は振興策を練りたい。

④ 不用額は繰り越して財政調整基金にまわる。小国は現在5億8千万円。コロナ第2波などあった場合これをどう考えるか。

【町長】一般財源は出来るだけ使わない方向。地域再生計画を立てて企業版ふるさと納税など新



コロナ禍における予算修正について

時松 昭弘

時松 昭弘

たな財源確保に取り組む。

■小国の林野率は高いが、その維持管理が集落で困難になっている。町での管理を望む声もある。問題提起したい。

【総務課長】町直営林は400町以上あるが、伐採した収益はすべて地元に行き、土地だけが残っている状態。地籍調査が令和9年に終了予定。権利は地元にあるので意向を聞きながら考えて行きたい。

「**人口減少・高齢化**」の中での維持管理対策をしっかりと考えてもらいたい。

【総務課長】地元が管理してきた林野だが、すべてが町に帰っても管理出来ないのです、木の持ち主と相談しながら進めて行く。

【時松】高齡木が多い。関係者は補助金を利用するなどして施業林管理に取り組んでもらいたい。



政策課・情報課・教育委員会 へ質問

西田 直美



命・くらしを守る コロナ対策を

児玉 智博

【政策課長】5社でモニタリングは8カ所。3か月毎に11項目でヒ素や化合物も検査予定。

【町民への説明会はいつか。広報で進捗状況など掲載しては。現地見学も。

【政策課長】内容を検討して前向きに進める。

【町長】事業者も見てもらいたいと言っている。まず議員に見ていただきたい。

【観光施設のコロナ対策、第2波に備える観光政策は。

【情報課長】各施設を閉めた。第2波は国のGOTOキャンペーン等を考えながら感染予防と経済対策を見極めつつ取り組んで行きたい。

【小国独自の取り組みは。

【情報課長】飲食店応援キャンペーンや小国町のCM制作・放映など。

【西田】遅れた観光行政に本腰を入れたい。

【町長】学校が長期休校になり、子どもの学力が心配。今こそ町の無料塾が必要。

【教育長】町営塾の構想はまだ進展なし。

【町民も訴えているが教育長の口からいつやるとの言葉が二度もない。

【教育長】これまで全部の子どもが参加できるものを作り上げてきた。若干考えが違う。

【西田】やらないことには始まらない。一人でも分らない子がいないようにしたい。

【町長】学校給食を育ち盛りの子ども達のために品数や量を増やすなど工夫出来ないか。

【教委事務局長】栄養士が年齢に応じたカロリー計算等している。当然教委として検討していきたい。

【教育長】これまで給食で大きな課題を指摘されたことはない。よくやっていると思う。

【西田】頑張っているのは理解しているが、カロリーだけでなく、成長期の子に野菜やポリウムを増やすなど工夫してもらいたい。

【小国公立病院が新型コロナウイルス感染症対策で果たしている役割を町はどう見ているか。

【福祉課長】病院は①小国郷内での感染症の早期発見と拡大阻止、②従来の病院機能の維持を目標に掲げ診療にあたっている。

2月25日、県内で最初に発熱外来を設け、原則午後からの予約診療で、初めは自動車の中で、5月12日からはプレハブで他の患者と隔離して診療を行っている。発熱外来設置から6月4日までの68日間受診者は約100名でPCR検査につないだのが18件。全て陰性だった。

【町長】新型コロナウイルスの影響で病院経営が大変苦しくなっている。公立病院の状況は把握しているか。

【福祉課長】2月から5月までの外来の受診者数が前年比で約14%減少している。

【町長】前年比で10%程度マイナスと聞く。日本病院会などは、緊急的な

助成がなければ新型コロナウイルスへの適切な対応は不可能となり、地域での医療崩壊が強く危惧されるとして政府に支援を求めている。町長からも要望頂きたい。

【町長】状況を国に訴え、臨時交付金を使えるなら公立病院に入れないといけないと病院運営委員会と話している。

【町長】これまでの町の独自支援の対象となっていない旅館などで働く人や林業従事者などへ、第3弾目の支援を検討出来ないか。

【町長】林業関係は今後、影響が出てきた場合、国の予算も見えて考えなければいけない。旅館などで働く人へは雇用調整助成金で対応してもらいたい。

【町長】5月末時点での熊本労働局管内の雇用調整助成金の申請件数は815件と少ない。申請が難しいのだと思う。代理申請の補助を検討出来ないか。

【町長】雇用調整助成金を申請したいが出来ないという事業所がどの位あるか把握したい。



コロナ感染症対策と 危機管理

久野 達也

【町長】コロナ感染症対策として、国・県・市町村が、それぞれを補完する対策が実施され、市町村の対応では地域性が現れている。小国町として防疫・生活支援・経済活性化など、町の対応策について、今後の部分も含めどう整理しているか。

【町長】コロナ対策については、「安全」「確実」「迅速」の順で行動し、事業展開を実施してきた。まず

感染防止・拡大防止対策、次に給付・救済対策、そして振興対策、加えて第2波以降の準備策であると考えている。関係機関とも連携を取り、情報収集を図り、対策実施に努めていきたい。

【町長】コロナ感染症対策を教訓とした危機管理について。感染症対策として3密回避の観点から災害時の避難所運営や避難形態にも変化が生じ、分散避難といった形態も議論されているが、現状とその対策は。

【総務課長】これまでも避難所開設とともに分散避難の形態も行

われており、避難者掌握等にも努め、一ヶ所に密にならないよう考えている。

【町長】コロナ感染症診療及び治療は本来保険診療だが、今は国費対応である。今後、保険診療になり得ると考えたとき、国民健康保険の財政状況を危機管理の観点からも考察しておく必要があると思うが。

【福祉課長】今後、一般診療となった場合、本町に限らず小さい自治体で、国保財政基盤が弱く運用基金の確保も出来ていない場合には、国保財政に与える影響はかなり大きいと思う。危機管理上、保険財政においても緊急時に備えるの準備は必要だと考えている。平常時から中長期的視野で緊急時を想定し、国保財政基盤の安定化に向けた検討や準備が必要だと感じている。



アフターコロナのまちづくりと子ども たちの教育について

江藤 理一郎

【町長】コロナ後のまちづくりビジョンは。

【町長】全ては次世代の為にといいコンセプトの下、森林と地熱の資源を使い地域循環共生圏事業や北里博士の千円札採用に向けての準備、ICT化を進めながら町の固有性を高めていく施策を盛り込んでいきたい。

【町長】小国町の地域循環共生圏構想では電気で走る周遊バスグリーンモビリティが町民を病院やスーパーへ運び、週末は観光客を乗せて町中を巡る。また地熱で野菜を育てたり、温泉付き住宅を整備するとしているが今後はこの通り進めて行くのか。

【町長】財源を地熱の事業所と共に確保し、自然と経済のバランスを取ることを数年間進めた後に地域循環共生圏に手を伸ばしていく。

【江藤】今年は10年に1度の総合計画策定の年であり町民挙げての策定をお願いしたい。

【町長】コロナの影響で県内小中学校の夏休み期間が9日から31日と地

域差が出ており、小国は産山や南阿蘇の9日に次いで短い11日間である。休校中も双方向学習ができた高森は24日と長い。小国が11日となった根拠は。

【教育長】学力充実のために長期休暇を短縮し、学校行事の精選も考え期間を決めた。ゆとりを持った授業づくりを進める部分で、詰め込みや、一気に広範囲の授業を進めない様に配慮した。

【町長】休校中に保護者へのWi-Fi、パソコン等の普及状況についてアンケートを実施しているが結果は。

【教委事務局長】小中学校ではインターネット契約済みの家庭が63%と80%、Wi-Fiの環境がある家庭が80%と74%。ただ、回答率が不十分であり正確ではない。また、今後1人1台のタブレット整備を進めるが、双方向遠隔授業を全家庭で行うことはできないため、ポケットWi-Fi等も準備するなど対応していきたい。



保育園建替え、農家支援、林間広場の管理について

穴見 まち子



奨学金制度と買い物支援

松本 明雄

【問】まずは、感染症対策に携わる保育士ほかすべての職員、病院関係の医療従事者の皆様に深く感謝したい。宮原保育園に行ったが、かなり狭いと感じた。感染症対策に対応するためにも保育園の建替えが必要ではないか。平成27年から学校施設の建替えがあり、その後は保育園と想っていたが、熊本地震による開発センターの建替えが行われた。町長は、保育園の建替えについてどう思うか。

【町長】宮原保育園は昭和61年に建設され、現在35年ほど経過。当時は3歳からの保育が中心だったが、今は0歳からとなっている。建設当時とはニーズが変わってきているというのが現状。今後しっかりと財源を確保し、建替えを考えたいと思っている。

【穴見】小国の米はコンビニエンスストアでも人気が高く、町外からも問い合わせがある。また、ヨーグルトも人気だ。ふるさと納税も活用し、町と農協と一緒になって有害鳥獣の対策や農家の支援と指導を

行ってもらいたい。

【問】林間広場の管理について、小国町社会福祉協議会に委託と聞いたが、その意図は。

【教委事務局長】現在、シルバー人材センターに草刈りなどお願いしている。またトイレについては、サポートセンター悠愛の利用者の方にお願している。

【問】梅雨時期に入り、避難のための車泊も増えると思う。スポーツ大会でも災害の時でも安心感のある施設となつてほしいと思う。

【教育長】定期的なチェックを怠らないようにしていきたい。



【問】町の奨学金制度の申し込み状況と、今回の新型コロナウイルスの影響による申し込みがあったのかを問う。

【教委事務局長】平成6年から17年までの12年間で延べ90人、その後の15年間で延べ12人、24年以降は2人。今年度の申し込みはないが、新型コロナウイルスにより家庭環境に変化があった家庭もあるかもしれないので、申込期間を延長した。

【問】国の政策でも町営住宅の保証人制度廃止が検討されている。奨学金制度も同等に検討してもらいたい。

【教委事務局長】いろんなケースがあるので、教育委員会としては保証人をお願いしたい。

【問】公立病院のような奨学金制度を役場の専門職にもとり入れたらどうか。

【町長】専門職が本当に厳しい。様々な手段を講じて今後も話していきたいのではないと思うので、しっかりと受け止め考慮していく。

【問】買い物支援について問う。郵便局や社会福祉協議会などの連携により、高齢者の見守りや安否確認をしていると思うが、買い物支援を商工会、福祉課、情報課、商店街などを含めてぜひとも早く行ってもらいたい。

【福祉課長】今後高齢化率の上昇、高齢者の中での年齢構成が更に高くなってくる。調査の方から検討を進めていきたい。

【松本】最高責任者である町長は、町民の生命財産を守ることを忘れない！





人に優しい政治、将来に向けて

大塚 英博

【建設課長】町が設置したメーター機以外については、軽減の対象外である。検査を受けた町の設置メーターでないといけない。

【町長】町が設置したメーター機以外については、軽減の対象外である。検査を受けた町の設置メーターでないといけない。

【建設課長】退去時は新しく張り替えていただくという以前から変わらない方針である。

【大塚】国の新型「コロナ対策に対する経済対策支援は、計り知れないものがある。国は自治体に対しても、経済支援を打ち出してくる」と考える。感染症研究の北里柴三郎博士はやがて千円札の顔にもなるが、今をチャンスと考え、小国公立病院の建て



小国公立病院

替えを考えてはどうか。これ程案件の整っている自治体はないと考えるがいかかが。これから先、地方自治体が生き残る二つの糧になるのではと私は考えるが、この判断は執行部に委ねる。



ICT環境整備への期待

熊谷 博行

【町長】昨年12月から教育委員会にICT化を進めてもらっている。コロナウィルス対策で臨時交付金がついたので、GIGAスクール構想に拍車がかかったという点は大きいかも知れない。小学1、2、3年生には、まず慣れてもらう。4、5、6年生は、勉強意欲を高めるためにタブレットを持ち帰りキーボードをしっかりと使えるような状況で学校と双方方向のやり取りが出来るようにする構想がある。

【町長】現在町道はげの湯線道路改良工事が行われている。一路線4工区3業者で、700mの改良工事だ。



町道はげの湯線道路改良工事

【町長】町の大枠として社会資本整備交付金と過疎債を使い、最小の一般財源で最大の効果があるような道路造りを行う。一般財源を見極め、バラバラでなく短期間集中で終わらせるのもひとつの方法ではないかと考える。

意見交換会の開催

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、町執行部との意見交換会を行なった。

◆町執行部との意見交換会

4月7日(火)におぐに町民センター3階議場で、町長、教育長、総務課長、福祉課長、教育委員会事務局より新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策や観光農林業への影響等について報告があり、意見交換を行なった。(全員)

<主な内容>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大対策本部設置について
- ・小国小中学校の休校中の対応について
- ・小国公立病院の状況について
- ・町指定管理者施設の休業について
- ・観光業、農林業への影響について

◆町長との意見交換会

4月30日(木)におぐに町民センター3階議場で、町長より新型コロナウイルス感染症対策について各課における対応の説明があり、意見交換を行なった。(全員)

<主な内容>

- 情報課:事業継続支援給付金、家賃支援給付金、商工活性化事業補助金、休業支援給付金について
- 建設課:町営住宅の家賃減額について
- 住民課:特別定額給付金支給のスケジュールについて
- 福祉課:子育て世帯への臨時特別給付金、国保傷病手当金、社会福祉協議会窓口分の生活支援制度について
- 教育委員会事務局:小国町就学援助、小国町奨学金貸与について

編集後記

この度の7月豪雨により、小国町においてもこれまでにない広範囲で甚大な被害がもたらされ、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が解かれ「さあ、これから!」という矢先の災害で落胆の色は隠せない状況ではありますが、前を向き町民の皆さまと共にまずは早期の復興に向けて歩んで参りたいと思います。

「明けない夜はない!」(江藤)

発行責任者	松崎 俊一
議長	西田 直美
【広報委員会】	江藤 理一郎
委員長	久野 達也
副委員長	児玉 智博
委員	
委員	



議会を傍聴してみませんか

議員は議会でどんな発言をしているの?
どんなまちづくりを考えているの?
議会に来てあなた自身でご覧ください!



傍聴に行くのは勇気がいりました。

北里 りえ子 さん

(6月16日傍聴 第3回定例会)

議員の質問と行政の答弁を聞くことで町に何が起きているのか知ることが出来ました。町民の声が議会を通して行政に届く小国町になってほしいと思います。

※次の定例会は9月です。日程は広報おぐにやおぐちゃんでお知らせします。

表紙について

令和2年7月豪雨で被災した杖立。住民は「かならず温泉街を再建する」と決意し、各地から駆け付けたボランティアの力添えを得て復興に向けて立ち上がっています。